

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮祭礼渡御図絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1988年(平成7)3月22日				
所在地	天理市布留町348番地				
所有者 管理者	石上神宮				
員数	2対4面				
時代区分	室町時代1対、江戸時代1対				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	特に案内板はない。				
公開	江戸時代の絵馬は国宝の拝殿内に掲げられている。正式参拝以外は入堂禁止。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	『大絵馬ものがたり』(須藤功著、農山漁村文化協会・全5巻)第1巻(稲作の四季)によると「現在まで絵馬として保存されている最古のものは、室町時代永享4年(1432)8月1日に天理市石上神宮に奉納の『渡御祭礼図』であるが、剥落がひどく絵は部分的にしか残っていない」と記載されている。こちらの室町時代の絵馬は神庫(ほくら)に保管されているとのこと。				
今後の課題	元興寺文化財研究所が永享4年(1432)銘の祭礼渡御図絵馬の保存修復(剥落防止)を実施している。拝殿に掲げられている江戸時代貞享4年(1687)銘の祭礼渡御図絵馬についても、将来は対策が必要と思われる。				
その他 (由緒など)	永保元年(1081)に白河天皇の勅使参行に始まる渡御祭を描いた絵馬である。室町時代の銘を持つ1対は剥落が著しく、現在は神庫に収蔵されている。江戸時代銘の1対は保存状態は良好で拝殿に掲げられている。両絵馬の構成はほとんど一致していることから、室町時代中期の渡御の状況や田楽芸の衰退など芸能の変遷を知ることができる。(奈良県指定文化財 昭和六十二年度版(第二十九集)奈良県教育委員会による)				
コメント	拝殿に掲げられている江戸時代の祭礼渡御図絵馬は目視では彩色がきれいに残っている。拝殿内の本殿に向かって右側梁上に第1面、左側梁上に第2面が掲げられていた。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	石上神宮祭礼渡御図絵馬
------	-------------



江戸時代貞享4年(1687)銘の祭礼渡御図絵馬	上段:第1面 下段:第2面
-------------------------	---------------

